

堺市母子家庭等就業・自立支援センターだより

専門員ご紹介コーナー

当センターの専門員ってどんな人?と思われる方もいると思います。どういう資格があり、どんな相談が出来るのか当センターの専門員を順次ご紹介いたします。

今回ご紹介の相談員は……

FP(ファイナンシャルプランナー)

FPはお金の面で様々な悩みの解決策をアドバイスし、家計の改善を図るホームドクターです。今後の資金面に不安のある方、恥ずかしくてお金の話がしにくい方も安心してご相談いただけますよ。

社会保険労務士

社会保険労務士は労働社会保険と年金に関する知識のプロです。働いている中で社会保険や給料に関する事で、これって変だな?合っているの?と思ってもなかなか会社では言えない事や聞けない事がありますよね。そんな時に的確なアドバイスが聞けると助かりますよね。

ワンポイントアドバイス

最低賃金が平成30年10月1日から936円(大阪府/最低賃金法第34条)に上がりました!一度自分の給料が下回ってないか確認してみましょう。もし下回っている場合は労働基準監督省に相談しましょう。



上記専門員は現在、火曜日を中心に当センターで活動しています。仕事でなかなか来所する時間がない方は、当センターのLINEやメールにてお問い合わせいただければお返事いたします。

LINE番号 080-3118-7773

メールアドレス sakajirituboshi@sweet.ocn.ne.jp

当センターでは、現在3名の相談員と職員で、ひとり親家庭の相談に応じています。

月・水・木:小川相談員 火:和田守相談員 金:松野相談員

講座について

今年は和気あいあいとした印象が強く、指導した先生も「楽しかった」とおっしゃるほど充実した研修になりました。「初級→中級と段階を踏んでステップアップしたい」「知識を役立てたい」などアンケートを行った結果、もっと勉強したい意欲が見えました。

平成30年度の講座申込受付はすべて終了しました。



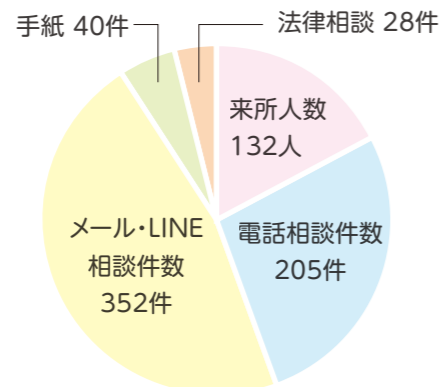
親支援講座を開催しました

母子家庭等就業・自立支援センターの受託事業として「親支援講座」を11月20日(火)開催しました。35名の方が別居離婚後の子育てについて学びました。



ご相談状況

平成30年4月1日から11月末日までのご相談状況です。お仕事のご相談、進学のご相談、生活設計のご相談、たくさんのご相談がありました。悩んでる方の力になったり、一歩踏み出すステップアップに携わる事が出来ていれば幸いです。



母子寡婦だより

しらゆり堺

新年のご挨拶

堺市長 竹山 修身



明けましておめでとうございます。堺市母子寡婦福祉会の皆様におかれましては、新しい年の始まりをお健やかに迎えの心から心からお慶び申し上げます。また、平素から福祉行政の推進をはじめ、市政全般にわたりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

国際社会では、「誰一人取り残さない」をテーマとした世界の共通の目標である「持続可能な開発目標」いわゆる「SDGs」の達成に向けた動きが進んでいます。

堺市が推進する「堺・3つの挑戦」をはじめとする取組は、持続可能な社会の実現をめざす「SDGs」の方向性と合致しており、「SDGs」の視点を持ちながら、市政を着実に推進していくことを国に提案し、昨年6月に、国から「SDGs未来都市」に選定されました。「誰一人取り残さない 笑顔あふれるまち堺」を旨とし、全力で取り組んでいるところです。

その中では、近年、子どもの貧困が社会問題となっており、特にひとり親家庭の貧困は深刻です。生まれ育った環境によって、子どもの夢や将来が奪われることがないよう、ひとり親家庭等への支援の充実がますます重要になっています。



このような中、貴会におかれましては、本年度から看護師として働く意欲のある方を対象に看護学校入学予備校の授業料を給付する独自の制度を創設されるなど、ひとり親家庭の福祉向上にご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本市におきましても、就職に有利な資格取得をめざすひとり親家庭の父母を支援するとともに、就職までのサポートや養育費確保のための無料の弁護士相談を実施するなど、きめ細かな支援に努めているところです。

今後も、貴会とともに、ひとり親家庭の生活の安定と向上に取り組んでまいります。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びにあたり、本年が皆様にとりまして幸多き素晴らしい一年となりますとともに、堺市母子寡婦福祉会のさらなるご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

社会福祉法人 堺市社会福祉協議会
会長 静 又三



新年、あけましておめでとうございます。

堺市母子寡婦福祉会の皆さまにおかれましては、ご家族や親しい方々とともに、穏やかなお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、共同募金運動をはじめ、本会が推進する諸事業に多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



さて、人口減少、超高齢・少子社会が進む中、地域や家庭のつながりが希薄化するなど、社会状況は大きく変化しております。また、福祉・生活課題についても、多様化・複雑化しており、特に子どもの貧困の問題は、子どもだけの問題ではなく、その親を取り巻く雇用や経済環境の問題など、様々な要因が混在し、根本的な解決が難しいというのが現状です。このような時だからこそ、地域の「困りごと」を「我が事」としてとらえ、地域に住むすべての人が支え・支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく豊かに暮らすことのできる「地域共生社会」の実現が求められています。

貴会におかれましては、ひとり親家庭が自立し安定した生活を送るために、就業や生活支援だけでなく、一日課外活動やレクリエーション活動等の親子が交流をはかるための各事業を積極的に展開されておられます。未来を担う子ども達の健全なる成長をめざし、たゆみない努力をされておられることに深く感謝と敬意を表します。

本会におきましても、堺市より受託している『ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業』や『さかい子ども食堂ネットワーク形成支援事業』をはじめ、堺市と合同で策定した「堺あったかぬくもりプラン3」に基づく様々な事業を地域住民や行政、各種関係機関、団体とともに積極的に取り組んでまいります。皆さまにおかれましては、引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の更なるご発展と、会員の皆さまにとりまして本年がご健康で幸多き一年となりますことを御祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

堺市母子寡婦福祉会 新年のご挨拶



理事長 吉田 百合子



会員の皆様方には健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

平素は母子寡婦福祉会の事業にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

本年は新しい元号の年として、ひとり親の福祉にも一層の支援が期待されます。景気は緩やかに回復に向かい、就職状況も改善されていると言われていますが、母子世帯の就労にはアルバイト・パート等の非正規雇用の形態が多く、これらの改善は進んでおりません。子どもの貧困の問題もあり、母子・父子・寡婦などを取り巻く環境は依然厳しく、生活基盤の脆弱な状態が続いています。

資格を取得して正規雇用に就くことを目的に、昨年

初めて「准看護師学校受験対策講座」を開講し、現在6名の方が受講されています。努力が実り准看護師学校に入学できた際には「高等職業訓練促進給付金事業」に繋がりたいと期待しています。

また、2年目を迎えた「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金制度』」は堺市から6名の奨学生を輩出いたしました。書類選考に残った10組の親子を面接したのですが、どの子も本当にしっかりと自身の将来を見据えた夢を持ち、努力する姿が逞しく、その中から選出する苦しさを味わいました。どうしてもと補欠の推薦書を提出したところ、1名追加で選ばれ、一同大喜びした次第です。

本年も「母子家庭等就業・自立支援センター」に於いて、ひとり親の自立支援を頑張ってもらいます。会員の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

副理事長 石川 朋子



明けましておめでとうございます。新しい元号を迎える年の初め、お健やかでしょうか？

現在、堺市には児童扶養手当を受けている方だけでも8千人ほどいますが当母子寡婦福祉会の母子(父子)会員はわずか200人余りです。

会の知名度にも問題があり、少しでも会の事業を知っていただきたいと、昨年12月に「堺自由の泉大学」の教養講座で、「母子家庭・父子家庭の現状と自立支援策」のテーマで理事長、副理事長

2名でお話をさせていただく機会を得ることができました。

会員になると、夏の野外活動、みかん狩り、クリスマス会、料理教室など会員限定の楽しい行事にも参加頂けます。高校三年生には給付型の奨学金制度もあり、またローソン奨学金の申請資格も得られます。

お知合い、ご近所にひとり親家庭がおられましたら「母子寡婦福祉会」を一度訪ねるよう、お声掛けをして頂けませんでしょうか？本年もご協力をよろしくお願い致します。

副理事長 勝山 孝



あけましておめでとうございます。平成が終了し、新元号の年として期待も大きく膨らみ、お健やかに迎えることと存じます。

私は校区の連長さんより母子福祉推進委員に推薦され、この会に出会って5年目を迎えます。この会で、子育てしながら、雇用条件も整わない中で必死に明るく生活されているお

母さん、そして、自分の夢に向かって頑張っているその子ども達に出会いました。また、60代、70代ながらも毎日働いている逞しい寡婦の方々とも知り合い、この衝撃は私の人生観を大きく変えました。その中でこの会の持つ役割の大切さを改めて実感しました。

ひとり親家庭にも将来に夢が持て、笑顔で過ごせる日々がより多く来ますように多方面から皆様と一緒に支援していきたいと思えます。今年も皆様のご協力よろしくお願い致します。

母子部 部長 小田 真里子



明けましておめでとうございます。昨年は大阪に久しぶりの大きな台風が直撃しました。日々の暮らしも大変苦しい中、被害にあわれたご家庭もあるかと思えます。本年は、穏やかな一年となりますようお祈りいたします。毎月第3日曜日

13時から総合福祉会館2階ちびっくルームにて「堺ふお〜らむ広場」というひとり親家庭の交流会を行っているのですが毎回、多くご参加していただいています。まだお越しになっていない方もお子さんを連れて遊びに来られませんか？お待ちしております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

活動報告 & INFORMATION

平成30年10月27日・28日
平成30年度 全国母子寡婦福祉研修大会に参加しました

平成30年度全国母子寡婦福祉研修大会が10月27日、28日に岡山県プラザホテルにて開催されました。当会からも理事5名が参加し、盛況のうちに終了しました。



全国母子寡婦福祉研修大会に参加して

理事 阪口 孝子

はれの国岡山は晴天。岡山城と後樂園のおひざ元で開催されました。開会式・厚生労働省の行政説明と続き、いよいよ討議へと入っていきます。各地区から6名の発表に4名の助言者がアドバイスされ、それをコーディネーターの先生が上手にまとめられていて、うなずいたり、大変だけど頑張ってる！とエールを送りたい気持ちになったり、みんなで繋がる心強さを感じました。二日目は講演でした。講師の先生は全盲ですが、人生は常に前向きで、盲学校の教師を退職後モンゴルに視覚障がい者の学校を設立される等、お話しは明快でユーモアもあり聞き手に爽やかな風を届けて下さいました。

平成30年12月9日
近畿ブロック
母子部長会議(神戸市)

今後のそれぞれの課題について意見交換し、交流を深めました。



堺市母子寡婦福祉会事業

『正・准看護師学校受験対策講座』開催します！

募集は各5名程度です。詳細はホームページを見て頂くか、直接堺市母子寡婦福祉会事務局までお問合せ下さい。

<http://www.sakaiboshi.org>

堺市母子寡婦福祉会

検索

スマホでも見やすい！

寡婦:日帰りバスツアー

平成30年11月14日
滋賀県びわこ緑水亭での昼食と日吉大社参拝

恒例の寡婦日帰り旅行では、滋賀県のびわこ緑水亭で美味しい昼食を堪能したり、日吉大社へ参拝に行ったりと楽しい時間を過ごしました。



母子部イベント [会員限定行事]

平成30年11月11日
藤田農園でみかん狩り

甘くて美味しいみかんを袋いっぱい収穫できました。親子で楽しい1日を過ごしました。



平成30年12月16日
クリスマス会 お正月リースを作ろう！

お正月リースづくりのあと、クリスマス会で楽しくすごしました。



料理教室 参加者募集中！

日時：平成31年3月17日(日)

内容：スイートポテトを作ろう

詳しい内容は、改めてお知らせします。たくさんのご応募お待ちしております。



2019年夏の野外活動は、淡路島に1泊キャンプを企画中！

作戦会議をたくさんしていますのでみんな待っててね！



ひとり親家庭のお母さん・お父さんと子ども達の交流の場
“堺ふお〜らむ広場”に遊びにきませんか？

日時：(原則として)毎月第3日曜日 13時~16時
場所：堺市総合福祉会館2F ちびっくルーム
問合せ先：堺市母子寡婦福祉会 TEL.072-223-7902